



大企業減税の為に庶民に増税

所得税4%アップ
住民税五百円アップ

政府・民主党が決めた復興財源原案では、所得税を二〇一三年から十年間4%上乘せ。個人住民税均等割を14年から五年間五百円上乘せ。一方、現行30%の法人税率を25・5%に引き下げ、3年だけ付加税10%。つまり、 $25.5 \times 1.1 = 28.05\%$ 要するに法人税は三年間は2%減税。その後5%減税。

復興財源を
口にしながら

「復興の為の財源を」と云うなら増収の筈。ところが、大企業には減税。税収が減る分を、所得税率を一律上げて、庶民に増税。住民税に至っては定額増税で低所得者のアップ率が高く、金持のアップ

率はごく僅か。

景気を上向けるには

復興には景気を上向ける必要がある。所得税を上げたら、それだけ、家計の消費支出は減る。それでは景気は悪くなる。

一方、大企業はどうか？トヨタは13兆円も内部留保がある。大企業全体では一四一兆もの内部留保。それらを吐き出すことが、国内の景気浮揚で復興になる。

欧米では

富裕層や大企業の経営者自身が「われわれに課税せよ」と声をあげている。庶民増税では経済回復にならないからだ。皆さんはどう思われますか？

万騎が原ちびっこ動物園



相鉄線二俣川駅の南一キロの所に、万騎が原(まきがはら)こども自然公園がある。この地は鎌倉幕府が出来て間もない一二〇五年、北条時政らが大军、即ち万騎の軍勢で畠山重忠をだまし討ちにした古戦場。それが今の地名。

そこにちびっこ動物園がある。昔は、兎や羊、山羊がいて、家族でよく来たものだった。今は、ヒヨコ、モルモット、ハツカネズミを子ども達に抱かせてくれる。

火曜日の昼下がり、子ども達が次々と来る。動物園のお姉さんの指導で、きちんと座り、動物を落とさないように膝に抱き、両手で支えていた。和やかなひとときだ。